

2017年1月1日

株式会社ブイ・エム・アイ総研

「活・人・経・営」コラム第60回

＜イノベーションへのトリガー＞

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年の4月から弊社のホームページのサイトが変わり（新サイト：<http://www.vmi-sohken.jp>）、内容もこの機会に一部変更しましたが、コンサルティングの基軸は一貫して変わりません。「活・人・経・営」がベースとなり、人の持つ無限の可能性に焦点を当て、コンサルティングや人財研修を通じて顧客企業様の企業価値向上の支援をさせていただいております。

人の活性化は各種の知恵や行動を生み出し、明日への展望に繋がります。活性化された組織は、未来に潜む不安やリスクを乗り越えるダイナミズムとなり、前向きな実践活動が、シンギュラーポイント（特異点）を生み易くします。これがイノベーション創出へのトリガー（きっかけ）になっています。

一昨年頃から、第4次産業革命という表現が定着してきましたが、本年はITを軸とした技術革新だけでなく、各国の政治や経済の大きな変動も想定され、社会の変化とも連動し、これらが総じて経営大変革の年となりそうです。

未来の地球の姿は現在の私達人類の行動の結果ですから、皆様と共にビジネスを通じて変革に挑戦し、豊かな未来を共創していきたいと念じています。

本年も昨年同様どうぞよろしくお願い申し上げます。

＜イノベーション創出の加速化に向けて＞

21世紀におけるイノベーションは、技術の革新にとどまらず、これまでとは全く違った新たな考え方、仕組みを取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こす幅広い概念として捉えられてきています。特に近年、多くの先進国において、GDPの過半を占めるサービスの分野におけるイノベーションへの注目が高まってきており、イノベーションは経済全体に影響を及ぼす概念として、そのウイングを拡げています。

— 出典：「未来を創るイノベーション」経済産業省産業技術環境局編 —